

“安全・安心なくらしを守る” 地域ネットワークみえ

設立趣意書

平成25年3月15日、安倍首相は、日本のTPP(環太平洋連携協定)交渉参加を表明しました。国民の中でTPPへの懸念が高まる中、これらの声を黙殺して交渉参加表明を強行したことを許すことはできません。

関税撤廃の例外措置を認めないTPP交渉に参加すれば、農林水産業をはじめ、運送・加工などの製造業等、関連産業にも多大な影響を及ぼし、地域社会は崩壊する恐れがあります。

また、TPP交渉は、単に物品の関税撤廃にとどまらず、金融、保険、医療などのあらゆる分野に関するわが国の仕組み・基準の変更につながるものであり、国家の安全保障問題も含め、「国のかたち」が一変してしまう可能性があります。

食の安全においては、食品添加物・農薬残留基準・食品表示をはじめとして、食の安全に関わるしくみが後退する懸念があります。

医療分野においては、アメリカの医療市場開放要求が各段に強まり、日本医療の市場化・営利化が進むことは確実です。そうすると、「国民皆保険」による誰もが、いつでも、安心して適切な医療を受けることができるいまの素晴らしい医療制度を堅持することができなくなります。

こうした状況を踏まえ、私たちは県民の食とくらし、いのち(医療)を守り、三重県民の安全・安心な生活と地域産業の発展により、豊かな地域社会の維持を図っていくことを目的として、地域ネットワーク活動を展開することとしました。

私たちは、この地域ネットワーク活動において、国民・県民に対して情報が不十分な国の施策や国際協定から、食とくらし・いのち(医療)を守り、私たちの生活にかかわるあらゆる仕組み・ルールが果たす役割を再認識し、私たち自身をもっと身近な問題として考え、行動してまいります。

こうした趣旨にご賛同いただける人々(団体・組織)を広く募り、私たちのかけがえの無いくらしを守る活動に取り組むこととします。

平成25年5月27日

設立呼びかけ人

三重県生活協同組合連合会	会 長 理 事	上野 達彦
三重県農業協同組合中央会	会 長	奥野 長衛
三重県漁業協同組合連合会	代表理事会長	永富 洋一